



秋田県立図書館広報

# 秋田県立図書館だより

Vol.85

平成28年10月発行



(あきた文学資料館と収蔵庫)

## 「あきた文学資料館」開館十周年について

秋田県立図書館長 高橋 貢

平成十八年四月二十八日、県内の文学関係者の長年の念願であった「あきた文学資料館」（県立図書館分館）が開館の運びとなつた。

県教育委員会（小野寺清教育長）の全面的な支援の下、本県の文学研究を牽引してきた井上隆明氏を中心に、佐々木久春、千葉三郎、北条常久、高橋秀晴の各氏が文学資料調査収集委員会を組織し、その献身的な活動と、それを支援する県民の熱意によつて実現したものであつた。

爾来十年。収集した貴重資料は、現在七万五千点を超える。

「収集の十年から公開の十年へ」。文学資料館の今後の方向性を端的に表現すれば、こういうことにならうか。これまでの十年間で収集した貴重資料を、いかにして多くの県民の皆さんに御覧いただくか、どのように活用を推進していくのか、これがこれから最大の課題である。

まずは、これまでの企画展を充実させることはもちろんあるが、一階玄関向かいのラウンジには、常設展を設置することを計画している。伊藤永之介や小牧近江や石川達三などの直筆原稿、書簡などを常時展示し、いつ来館されても見ることができるようしたい。来館者が自由に感想を記載するノートを見ると、最近、県外の方が目につく。文学や歴史に興味があるので、ネットで調べて秋田駅での待ち時間を利用して來た、という方が多い。秋田駅から徒歩で回れる観光関連文化施設という面でももっとアピールし、知名度を高める努力をしたい。

また、県教育委員会所管の機関であるという面も重視し、県内の小学校、中学校、高等学校との連携を強化し、インターネット・シップ、総合的な学習の時間での郷土学習やセカンドスクール的利用など、または遠足の途中でちょっと立ち寄つてもらうだけでも、子供たちには得がたい経験になると思う。

更には、インターネット上で公開している秋田県デジタルアーカイブへの登録を進め、全国各地からの要望にも応えられるようなサービスを充実させたい。

資料の収集には当然継続して力を注ぎつつ、秋田の文学に関する情報センターとしての機能を高め、県民の多彩な文学活動の拠点として、秋田県における文学活動の振興を支援する態勢を整えることが責務であると考えている。

## 特集

# 県立図書館は様々な情報を県民の皆様に届けています 外部機関等と共に行う新たな取組

県立図書館は、多様な情報を県民の皆様に届けることができるよう、多くの外部機関と連携した事業に取り組んでいます。今回はその中から、今年度新たに始めた事業について紹介します。

新聞社と

## 秋田魁新報紹介コーナー



紙面の記事だけでなく、広告欄からも当時の様子がうかがえます。注目してご覧ください。

紹介コーナー』を設置しています。県立図書館には明治33年以降の秋田魁新報が現物保存されており、今年度はその中から昭和30年代の紙面を月替わりで2面ずつ紹介しています。県内で起きた様々な出来事を当時の紙面からご覧いただけます。

古い新聞は、マイクロフィルムで閲覧や有料でコピーをすることができますのでご活用ください。

社会教育施設と

## ライブラリーゼミ



3回目の「子どもの読書」では読み聞かせや絵本について紹介しました。

県立図書館の1階エントランスホールに入ると左手に秋田魁新報の複製物が貼られた掲示板があります。平成28年5月から、秋田魁新報社との連携事業として『秋田魁新報

た。2回目の「県立図書館のお宝紹介」では、明治32年の開館以来、収集・保存している多くの貴重資料の中から、県指定有形文化財「御曹子島渡り」や「佐竹本三十六歌仙絵巻」等の解説とデジタルアーカイブでの閲覧方法についての紹介をしました。

図書館に関心のある方や県内の図書館職員が受講し、図書館の機能や役割について理解を深め、図書館を身近に感じる機会となりました。

県内企業・商店と

## 雑誌スポンサー紹介コーナー



ビジネス支援コーナー近くにあります。展示は3ヶ月ごとに入れ替えします。

平成28年4月、2階閲覧室内に「雑誌スポンサー紹介コーナー」を設置しました。県立図書館では、雑誌コーナーの充実、企業・商店等の情報発信の場として

ての活用を目的として、平成24年度から「雑誌スポンサー制度」を導入しています。この制度は、企業・商店等に雑誌の購入代金を負担していただき、その雑誌を雑誌コーナーで提供する制度です。雑誌のカバーと雑誌架には、スポンサー企業名と広告を貼り付けます。新たに設置した「雑誌スポンサー紹介コーナー」では、定期的にスポンサー企業のチラシやポスター、そして製品等を展示しています。スポンサー企業の製品や魅力的な取組をぜひご覧ください。

# Topics

～県立図書館の事業やイベントなどの紹介～

## 平成28年度（第40回） 秋田県図書館大会開催



仁上幸治氏による基調講演

6月17日（金）、秋田県図書館大会が県生涯学習センターで開催されました。

県内の市町村図書館、公民館図書室等から約80名が集まり、「図書館が変わ

る・地域が変わる—発信する図書館—」をテーマに講演と事例発表が行われました。

始めに、図書館サービス計画研究会代表の仁上幸治氏が「図書館PR戦略入門—逆風の中で味方を増やす地域内関係再構築」と題し、図書館に必要なPRやブランディングの手法について、様々な事例を交え、基調講演を行いました。続いて、鹿角市立図書館か

らは新たにスタートした図書館について、秋田市立図書館からはかぞくぶっくぱっく事業とファンテ文庫について、大仙市立大曲図書館からはだいせん読書の日の取組につ



3市の図書館の取組を事例発表していただきました。

いて事例発表があり、今後の図書館活性化について考える貴重な機会となりました。

## 北日本図書館大会（山形市）

6月23日・24日、第67回北日本図書館大会山形大会が、「地域を元気にするため図書館ができること」

を大会テーマに山形市で開催され、県立図書館の取組について事例発表をしました。

「公共図書館から地域住民・地域社会へのアプローチ」と題したシンポジウムで、連携講座・セミナー、展示、雑誌スポンサー制度等の事業について紹介し、連携先と図書館のもつ強みを生かした事業の実施ができること、連携した機関等が図書館の理解者となることなど、連携の成果について報告しました。

北日本地区の図書館職員が一堂に会し、基調講演や事例発表を通じて相互に学び合う機会となりました。

## 学校図書館職員等研修会



完成した「ミニ展示」は、閲覧室で展示・貸出を行いました。

8月2日（火）、3階多目的ホールを会場として平成28年度学校図書館職員等研修会を開催しました。当日は、高校や特別支援学校の教職員・生徒合わせて27

名が参加し、ワークショップや情報交換会を行いました。

ワークショップでは「資料の展示の仕方と工夫」と題し、参加者が6つのグループに分かれて、「ミニ展示」を作りました。本の並べ方を工夫したり、ポップや看板を作ったりと、どのグループでもアイデアあふれる展示ができました。

参加者からは、「展示の際のテーマ決定から本の選定までの流れが、実際にやってみてよく分かった」「委員会で展示企画をやってみたい」などの声が挙がりました。

## News ~県立図書館からの最新情報~

### 石川達三・松下英麿宛書簡のご紹介



石川達三・松下英麿宛書簡

このたび秋田県出身作家・石川達三が、戦時中に中央公論社の担当編集者であった松下英麿に宛てた書簡17通を購入しました。

石川達三はブラジル移民を題材とした小説『蒼氓』で、1935年に第一回芥川賞を受賞しています。1938年に雑誌『中央公論』に発表した小説「生きてゐる兵隊」は、戦争時の日本兵の描写から掲載号が発禁処分となり、当時の編集部長らと共に新聞紙法違反に問われました。今回の書簡は「生きてゐる兵隊」発表前の1936年から後の1944年までのもので、松下との近しいやりとりの中から達三の人柄や当時の心の動きをうかがい知ることができます。

### 新たに高等学校・特別支援学校に貸し出すセットを追加



セット資料「芸術のすすめⅢ」より。写真集と、写真撮影のガイドブックを一つにしています。

県内の高等学校・特別支援学校の学校図書館への支援として、セット資料（あるテーマに基づいて30～40冊程度の本を集め、

一つのセットにしたもの）の貸出を行っています。10月より新たに21セットを追加し、現在、54のテーマで194セットを準備しています。セットは、「読むハローワーク」「作家発掘」「詩歌の世界」「芸術のすすめ」「18歳からの選挙権」など、幅広い分野からテーマを設定しています。授業や放課後の読書など、様々な場面でご利用ください。

## Event ~イベント・催し物のお知らせ~

### ■秋田を学ぶ講座シリーズⅧ

#### 音楽セミナー「秋田の山河」

【期日】 12月10日（土）

【時間】 午後1時30分から午後3時まで

【会場】 秋田県生涯学習センター 3階講堂

【講師】 秋田大学名誉教授 佐々木久春  
二期会会員 土崎宏人

【定員】 100名（参加無料）

### ■お金と暮らしのセミナー

【期日】 2月4日（土）、2月18日（土）

【時間】 午前10時から午前11時30分まで

【会場】 秋田県立図書館 3階多目的ホール

【講師】 秋田県金融広報委員会  
金融広報アドバイザー 齊藤廣勝

【定員】 50名（参加無料）

### これからの休館日

11月2日（水）

12月5日（月）～15日（木） 特別整理期間

12月28日（水）～1月4日（水）

2月1日（水）

3月1日（水）

※休館日に図書や雑誌を返却する際は、正面入口横にあるブックポストをご利用ください。